

2019年12月8日から12月27日まで、フィリピンでの活動として、パナイ島のアクラン州ニューワシントンのアクラン州立大学 College of Fisheries and Marine Science に滞在していました。現地の会合等にも参加して忙しい日々でしたが、後半、1週間ぐらいはクリスマスパーティーの連続でした。クリスマスの日に台風29号(Phanfone)が現地を直撃、明け方、窓から雨が吹き込んできましたが無事でした。現地は停電状態で何もできず、研究室の天井も飛びました。後片付けをしていたら、学部長のヤスミンが来て、Kariboの空港が機能停止で、飛行機が当面飛ばないと教えてくれました。彼女のと SEAFDEC/AQD のジョンさんのサポートで、イロイロからの航空券を入手し、イロイロまでタクシーで移動(すべてアクラン州立大学の費用)して、マニラ経由で当初の予定通り27日に帰国できました。現地は電柱等送電設備が壊滅状態で、復旧には1か月以上かかるでしょう。ASUと現地の関係者のサポートに感謝します